

事業概要【アフターコロナを見据えたインバウンド誘客支援事業】

旧制度（推進）

申請者	鹿児島県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	301,875千円（112,842千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的・効果	観光産業が疲弊している中、アフターコロナを見据えて本県が持っているインバウンドのポテンシャルを活かした取組を戦略的に行うことで、経済活性化を図り、県民所得向上を目指す。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 アフターコロナに向けたインバウンド市場の戦略的な開拓・プロモーション、きめ細やかな受入体制の整備等により、「来て、見て、感動する鹿児島」を体現し、外国人が快適に訪問しやすい観光地づくりを行う。これにより、訪れた観光客に「また来たい」と思わせることで、リピーターを増やし、海外から観光客が集まる魅力ある鹿児島の実現と、持続可能な活力ある県勢の発展を目指す。 【主な経費】 1 アフターコロナを見据えた観光回復を図る取組112,842千円 （1）海外観光プロモーションの強化（委託料）86,019千円 （2）外国人観光客受入体制の整備（委託料）13,444千円 （3）ベトナム誘客プロモーション事業（委託料）13,379千円 アフターコロナを見据えた観光回復を図る取組 （1）海外観光プロモーションの強化 （2）外国人観光客受入体制の整備 （3）ベトナム誘客特別プロモーション事業 観光産業が疲弊している中、アフターコロナを見据えて本県が持っているインバウンドのポテンシャルを活かした取組を戦略的に行うことで、経済活性化を図り、県民所得向上を目指す。		
KPI	①インバウンド関連講習会参加者数（+295人） ②多言語ウェブサイトページ閲覧数（+41万件） ③世界自然遺産を周遊する旅行商品の造成数（+11商品） ④本県の外国人延べ宿泊者数（県内のインバウンド観光客数）（+159.02万人泊）	関連URL	鹿児島県まち・ひと・しごと創生総合戦略 http://www.pref.kagoshima.jp/ac11/kensei/keikaku/chihousousei/sougousenryaku.html

事業概要【かごしまの将来を担う人材の確保・定着促進事業】

旧制度（推進）

申請者	鹿児島県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	127,957千円（38,551千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	県内在住の若年層に対する県内定着及び外国人材の安定的な確保・定着等を促進することで、本県経済の発展を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 若年者等の県内定着や外国人材の安定的な確保・定着に向けた課題を解決するため、以下の取組を行う。 【主な経費】 1. 若年者等の県内定着の促進 ○受入側の人材確保・受入体制の構築 （委託料等） 13,129千円 ・企業の魅力発信・知名度向上に関するセミナー 等 2 外国人材の安定的な確保・定着 ○（委託料） 14,326千円 ・高度デジタル外国人材獲得の機会増大を図るためのモデル構築等 1. 若年者等の県内定着の促進 受入側の人材確保・受入体制の構築 2. 外国人材の安定的な確保・定着 県内在住の若年層に対する県内定着及び外国人材の安定的な確保・定着等を促進することで、本県経済の発展を目指す。		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①高校生の県内就職率（+0.75%） ②大学生の県内就職率（+0.75%） ③障害者就職面接会を通じた就職件数（+15件） ④県内のインドネシア人及びフィリピン人労働者の合計数（+580人）	関連URL	鹿児島県まち・ひと・しごと創生総合戦略 http://www.pref.kagoshima.jp/ac11/kensei/keikaku/chihousousei/sougousenryaku.html

申請者	鹿児島県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	393,324千円（132,697千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	「農林水産業の競争力強化」、「イノベーションの創出と競争力のある産業の振興」に向けて、本県の基幹産業である農林水産業の中でも特に高付加価値化への課題を有する林業等の更なる振興を図りつつ、将来を担う新たな産業の創出に取り組むとともに、販路ネットワークの強化等に係る取組を行うことで、県内地域経済の持続的な発展や「稼ぐ力」の向上、県民所得の向上を目指す。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 以下の各取組を行うことで企業の付加価値額が向上し、県内地域経済の持続的な発展や、「稼ぐ力」の向上、県民所得の向上が実現する。 【主な経費】 1. 「稼ぐ力」のある産業の創出 (1)既存産業の高付加価値化に向けた支援（委託料，補助金） 36,885千円 (2)新たなビジネス創出への支援（委託料，補助金，負担金） 26,747千円 2. 企業の「稼ぐ力」強化に向けた支援 (1)企業の販路ネットワークの強化に向けた支援（委託料，補助金等） 42,138千円 (2)企業の経営基盤の強化に向けた支援（委託料等）26,927千円	1. 「稼ぐ力」のある産業の創出 (1)既存産業の高付加価値化に向けた支援 (2)新たなビジネス創出への支援 2. 企業の「稼ぐ力」強化に向けた支援 (1)企業の販路ネットワークの強化に向けた支援 (2)企業の経営基盤の強化に向けた支援 本県の基幹産業である農林水産業の中でも特に高付加価値化への課題を有する林業等の更なる振興を図りつつ、将来を担う新たな産業の創出に取り組むとともに、販路ネットワークの強化等に係る取組を行うことで、県内地域経済の持続的な発展や「稼ぐ力」の向上、県民所得の向上を目指す。 KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値 ①県産品の新規販路開拓件数（+270品） ②実施対前年比付加価値額が増加した企業の割合（+150%） ③鹿児島県内の木材生産量（+117千m³） ④レストランフェア等における県産品の活用品数（+36品目） 関連URL 鹿児島県まち・ひと・しごと創生総合戦略 http://www.pref.kagoshima.jp/ac11/kensei/keikaku/chihousousei/sougousenryaku.html	

申請者	鹿児島県	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	76,791千円（18,566千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	「県民一人ひとりが、年齢や性別、国籍、障害の有無等に関わらず、個性と能力を発揮し、活躍できる社会」を実現させるとともに、共生共存を掲げ次世代を見据えた先駆的な地域社会を形成することで、国内外からの移住先として選ばれる鹿児島の形成を目指し、多様な人材の人口流入を促し、持続可能な社会をつくることを目指す。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・中間支援組織の育成 ・買物弱者支援 【主な経費】 1 地域コミュニティづくりの促進 ①中間支援組織の育成（委託料） 3,709千円 2 買物弱者支援 ①買物弱者への支援に関する情報の発信（委託料）3,900千円 ②先進技術等を活用した買物弱者支援策に係るセミナーの実施（委託料）1,457千円 ③市町村への助成（補助金）9,500千円 1 地域コミュニティづくりの促進 ①中間支援組織の育成 2 買物弱者支援 ①買物弱者への支援に関する情報の発信 ②先進技術等を活用した買物弱者支援策に係るセミナーの実施 ③市町村への助成 共生共存を掲げ次世代を見据えた先駆的な地域社会を形成することで、国内外からの移住先として選ばれる鹿児島の形成を目指し、多様な人材の人口流入を促し、持続可能な社会をつくることを目指す。		
KPI	①地域における移住者数（市町村の相談窓口等を通じた県外からの移住者数）（+9,600人） ②中間支援活動を行う団体数（+3団体） ③市町村による買物弱者対策の実施状況について、「実施している」と回答する市町村のうち、対策によりカバーできている地域の割合について「大部分はカバーできている（60～90%程度）」、「ほぼ全てカバーできている（90%以上）」と回答する市町村の割合（27.99%）	関連URL	鹿児島県まち・ひと・しごと創生総合戦略 http://www.pref.kagoshima.jp/ac11/kensei/keikaku/chihousousei/sougousenryaku.html

事業概要【人と技術でつなぐかごしま伝統産業活性化プロジェクト】

旧制度（推進）

申請者	鹿児島県	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	197,151千円（65,717千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	伝統的工芸品について、現代のニーズにマッチした商品開発・販路拡大を図る取組を支援することで、需要の開拓や収益性の向上を図るとともに、後継者の育成・確保を支援する。本格焼酎は、特に伸びしろが大きい海外市場へ輸出促進を図る必要があり、海外での認知度向上・販路拡大を図り、県産本格焼酎を世界の蒸溜酒として育成する。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・大島紬の魅力を発信しながら、ユーザー向けの需要開拓と流通に向けて収益性の向上を図る契機を作る。 ・本格焼酎の高付加価値化を図り、事業者の収益向上を図ることで、焼酎産業の持続可能な発展を促進する。等 【主な経費】 1 伝統産業活性化 （1）大島紬産地モニターツアー事業(委託料4,572千円）等 2 焼酎市場開拓 （1）国内市場開拓（委託料）16,840千円 （2）海外市場開拓（委託費）15,000千円 等 1 伝統産業活性化 （1）大島紬産地モニターツアー事業 （2）伝統的工芸品インバウンド等対応支援事業（コンソーシアム） （3）かごしまの伝統的工芸品後継者育成プロジェクト 2 焼酎市場開拓 （1）国内市場開拓 （2）海外市場開拓 （3）高付加価値化支援 伝統的工芸品について、現代のニーズにマッチした商品開発・販路拡大を図る取組を支援することで、需要の開拓や収益性の向上を図るとともに、後継者の育成・確保を支援する。本格焼酎は、特に伸びしろが大きい海外市場へ輸出促進を図る必要があり、海外での認知度向上・販路拡大を図り、県産本格焼酎を世界の蒸溜酒として育成する。		
KPI	①地域における新規雇用者数（伝統的工芸品産業への就労者数）（+6人） ②展示販売会での問屋への下代（卸値）（+5.01%） ③課税移出数量（国内出荷量）対前酒造年度比102%以上（+6%） ④県産品の海外へ新規販路開拓した商品数（+228商品）	関連URL	鹿児島県まち・ひと・しごと創生総合戦略 http://www.pref.kagoshima.jp/ac11/kensei/keikaku/chihousousei/sougousenryaku.html

事業概要【プレミアムブランド構築による鹿児島県の農林水産物販売促進プロジェクト】

申請者	鹿児島県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	260,553千円（76,270千円）
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	農林水産分野
目的・効果	高付加価値化と販路拡大に取り組み、我が国の食料供給基地として、鹿児島県の農林水産業が各市場からの期待と信頼に応えていくために、農林水産業の「稼ぐ力」の向上による、県民所得の向上を目指す。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 和牛日本一の鹿児島県産和牛、国内有数の水揚げ量を誇るブランド魚（ブリ・カンパチなど）、森林資源としてのかごしま材の普及拡大などの県産品をプレミアムブランド化し、効果的なPRによる消費拡大を目指す。 【ソフト事業経費】 ○ブランド製品の普及拡大 ・国内外における鹿児島県産和牛のPR活動（委託料11,429千円等） ・鯉節輸出体制構築支援（委託料7,975千円等） ○ブランド力強化・高付加価値化 ・森林認証材供給力強化（委託料2,235千円） ・かごしま茶の新たな販路開拓支援等（委託料17,981千円等）					1 ブランド製品の普及拡大 (1) 鹿児島県産和牛のPR活動 (2) 鯉節輸出体制構築支援等 2 ブランド力強化・高付加価値化 (1) 森林認証材供給力強化等 3 輸出強化 (1) かごしま茶の新たな販路開拓支援等 高付加価値化と販路拡大に取り組み、我が国の食料供給基地として、鹿児島県の農林水産業が各市場からの期待と信頼に応えていくために、農林水産業の「稼ぐ力」の向上による、県民所得の向上を目指す。	
地域の多様な 主体の参画	・鹿児島県地方創生有識者懇話会において、事業全体の効果検証結果を踏まえ改善点を明確化し、鹿児島県まち・ひと・しごと創生総合戦略の改訂や今後の事業展開に反映させる。 ・かごしまブランド推進本部会議において、生産者等の意見を吸い上げ、実施した事業に対するPDCAにおけるチェックを行い、事業に反映していく。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①木材生産額（+24億円） ②和牛日本一鹿児島応援店登録件数（+394店舗） ③イベントにおいて、県水産加工品のPRを実施した商品数（+60商品） ④県水産物輸出金額のうち鯉節（+7.2億円）

事業概要【人材に選ばれるかごしまプロジェクト】

申請者	鹿児島県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	81,534千円（27,298千円）
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	若者など人材の流出を抑え，外国人など多様な人材の活用を図るほか，大都市圏等から本県への人の流れをつくり，地域を支える人材を確保していくことで，持続可能な鹿児島県への構造転換を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・関係人口の可視化や鹿児島ゆかりの人々との連携，人手不足の地域と地域に関わりたい人をつなぐ場を提供する。 ・外国人材がスムーズにキャリアアップしていくための学習支援として，日本語学習支援e-ラーニングシステムを，県内企業で働く外国人材に対し提供する。等 【ソフト事業経費】 ○移住者及び関係人口増加の取組 ・関係人口プラットフォーム構築（委託料6,990千円）等 ○若者の人材定着の取組 ・若者の力を活かした地域コミュニティづくり支援（委託料2,017千円）等 ○外国人材から選ばれる取組について ・外国人材向け日本語学習支援（委託料6,215千円）等					1 移住者及び関係人口増加の取組 ・関係人口プラットフォーム構築 等 2 若者の人材定着の取組 ・若者の力を活かした地域コミュニティづくり支援 等 3 外国人材から選ばれる取組について ・外国人材向け日本語学習支援 等 若者など人材の流出を抑え，外国人など多様な人材の活用を図るほか，大都市圏等から本県への人の流れをつくり，地域を支える人材を確保していくことで，持続可能な鹿児島県への構造転換を目指す。	
地域の多様な 主体の参画	・鹿児島県地方創生有識者懇話会において，事業全体の効果検証結果を踏まえ改善点を明確化し，鹿児島県まち・ひと・しごと創生総合戦略の改訂や今後の事業展開に反映させる。 ・かごしま故郷人財確保・育成推進協議会において，各分野の団体等の意見を吸い上げ，事業に対するPDCAにおけるチェックを行い，事業に反映していく。					KPI	①市町村の相談窓口等を通じた県外からの移住者数（+10,068人） ②関係人口プラットフォームに登録した人数（+3,000人） ③森林づくり活動への支援のために訪問した企業数（+30社） ④外国人材受入見込み数（+3,492人）

事業概要【データに基づく稼げる観光地域づくりプロジェクト】

申請者	鹿児島県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	250,983千円 (83,661千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	観光地域づくりの主体である「観光地域づくり法人（DMO）」による稼ぐ観光地域づくりの実現を目指すとともに、本県の多彩な観光コンテンツを生かした新たな観光PRに取り組み、「観光立県かごしま」としての「稼ぐ力」の向上を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・観光客のニーズ、動向を継続的に把握し、効果的なプロモーションの改善につなげるため、観光客のニーズや動向を把握するため、デジタルアンケート調査を行う。 ・各エリアのDMOがデータを活用して「稼ぐ」観光地域づくりに関する組織づくりや人材育成、マーケティングや地域の持続可能性を高める観光コンテンツの造成等ができる推進体制を確立できるよう支援する。等 【ソフト事業経費】 ○新たなデータ収集によるニーズの把握等 ・新たなニーズの把握（委託料12,569千円）等 ○最近の旅行ニーズへの対応 ・各地域における観光地域づくり（DMO）の支援（委託料15,380千円）等					1 新たなデータ収集によるニーズの把握等 ・新たなニーズの把握) 等 2 最近の旅行ニーズへの対応 ・各地域における観光地域づくり (DMO) の支援 等 観光地域づくりの主体である「観光地域づくり法人（DMO）」による稼ぐ観光地域づくりの実現を目指すとともに、本県の多彩な観光コンテンツを生かした新たな観光PRに取り組み、「観光立県かごしま」としての「稼ぐ力」の向上を目指す。	
地域の多様な 主体の参画	・鹿児島県地方創生有識者懇話会において、事業全体の効果検証結果を踏まえ改善点を明確化し、鹿児島県まち・ひと・しごと創生総合戦略の改訂や今後の事業展開に反映させる。 ・観光地域づくり団体等は、効果的な観光施策を推進するため、データに基づくターゲット設定やPR手法を選定した上で、事業を実施し、観光施策全体を見直していく主体となる。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①観光消費額（年間）（+1,083億円） ②延べ宿泊者数（年間）（+108万人泊） ③本事業を活用して、データを活用した商品造成をしたDMO数（+5団体） ④本県における教育旅行の受入校数（+5校）

事業概要【人材確保・育成及び移住促進による地域経済活性化プロジェクト】

申請者	鹿児島県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	127,706千円 (48,783千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	本県において、地域における「県政の総合拠点」として県内7箇所に設置した地域振興局・支庁が、地域固有の課題解決や地域活性化策に迅速かつ柔軟に取り組む地域振興推進事業を活用して、新たに各地域の特徴や課題等を踏まえた地域企業の魅力発信や移住促進、外国人の定着促進、障害者の雇用促進等の取組を行うことで、各管内企業等における人材確保・育成を図り、これらの取組を通じて、持続的な地域経済の発展を目指す。						
事業概要・主な経費	【事業概要】 ・若年層の県内就職促進のための企業説明会の開催や労働力を必要としている事業者と都市住民のマッチング、各地域の課題に対応した人材確保・育成のための研修会等の取組を行う。 【ソフト事業経費】 ○若年層への地域企業の魅力発信 ・企業説明会開催、パンフレット作成（委託料）10,000千円 ○人材の確保に資する移住促進及び関係人口の拡大 ・マッチングイベント等開催（委託料）22,200千円 ○各地域の課題に対応した人材確保・育成の取組 ・研修会開催、パンフレット作成等（委託料）8,700千円 ・ロボットコンテスト運営経費（負担金）2,000千円 等 ※経費内訳はR7年度事業費					地域振興推進事業 地域における「県政の総合拠点」として県内7箇所に設置した地域振興局及び支庁が、地域の振興を図るため、地域固有の課題解決や地域活性化策に迅速かつ柔軟に取り組む。 地域振興局・支庁 鹿児島地域振興局 大隅地域振興局 南薩地域振興局 熊毛支庁 北薩地域振興局 大島支庁 姶良・伊佐地域振興局 管内市町村 <主な事業内容例> 観光の振興・交流の促進 産業の振興 集落機能の高度化 移住・定住の促進	
地域の多様な主体の参画	・管内民間企業が実際に関与することで、官民の連携のみならず民間企業相互の連携までもが促進されるとともに、企業等が今後、自立的に人材確保・育成の取組を行う上での知見・経験を得ることができる。 ・各事業において、市町村や地域おこし協力隊等が実際に参画することで、県と市町村の連携促進が図られるとともに、市町村が今後、自立的に人材確保・育成の取組を行う上での知見・経験を得ることができる。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①市町村の相談窓口等を通じた県外からの移住者数（+10,068人） ②高校生の県内就職率（+3%） ③外国人材の受入見込み数（+3,492人）

事業概要【国際クルーズ船による経済波及拡大プロジェクト】

申請者	鹿児島県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	88,896千円（29,632千円）
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	各地域の特性を活かしたコンテンツをPRすること等により，国際クルーズ船の経済効果を県内各地域に波及させ，「観光立県かごしま」としての「稼ぐ力」の向上を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・鹿児島港に寄港するクルーズ船客がツアーに求める内容，ツアーで許容する移動時間，消費額，鹿児島再訪希望などの項目についてアンケート調査を行い，寄港地ツアーのニーズを把握する。アンケート結果により，経済波及効果の推計及び旅客ニーズ等の動向分析を行う。 ・県内の漁協，加工業者及び海外クルーズ船販売登録者等と連携し，本県水産物等の国際クルーズ船への供給体制の構築・販売促進することで，県産水産物等の付加価値向上と輸出促進を図る。等 【ソフト事業経費】 ○国際クルーズ船の経済効果の波及 ・経済波及調査（委託料4,732千円） ○国際クルーズ船を活用した水産物等の輸出促進 ・クルーズ船供給体制構築（委託料19,000千円） 等					1 国際クルーズ船の経済効果の波及 ・経済波及調査 等 2 国際クルーズ船を活用した水産物の輸出促進 ・クルーズ船供給体制構築 等 各地域の特性を活かしたコンテンツをPRすること等により，国際クルーズ船の経済効果を県内各地域に波及させ，「観光立県かごしま」としての「稼ぐ力」の向上を目指す。	
地域の多様な 主体の参画	・鹿児島県地方創生有識者懇話会において，事業全体の効果検証結果を踏まえ改善点を明確化し，鹿児島県まち・ひと・しごと創生総合戦略の改訂や今後の事業展開に反映させる。 ・クルーズ船水産物等供給連携協議会において，県内の漁協，加工業者，海外クルーズ船販売登録者等と連携し，本県水産物等の海外クルーズ船への供給体制の構築・販売促進を行うネットワークを形成する。事業実施主体として，県と事業者が連携して実施するため，意見や改善方策を施策に直接反映する。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①観光消費額（年間）（+1,083億円） ②延べ宿泊者数（年間）（+108万人泊） ③国際クルーズ船に供給された県産品の売上（13,100万円）

事業概要【半導体関連産業拡大プロジェクト】

申請者	鹿児島県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	49,971千円（16,657千円）
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	域外からの投資を積極的に呼び込み、企業の稼ぐ力を一層向上させるために、新たな半導体関連企業の立地を促進するとともに、地場の半導体関連企業の投資を活性化させることを目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 国では、モデル的な取組や、広域連携が必要な取組を実施することとしており、県においては、国のモデル事業を参考にしながら、県内の実情に合わせ、県内企業、教育機関等に向けた個別の取組を実施し、県内への波及に取り組む。 【ソフト事業経費】 ○半導体関連企業人材確保・取引拡大等支援事業 ・人材確保・育成支援（委託料1,579千円） ・取引拡大支援（委託料10,628千円） ・産業交流促進（委託料：4,450千円） ※経費内訳はR7年度事業費					半導体関連企業人材確保・取引拡大等支援事業 ・人材確保・育成支援 ・取引拡大支援 ・産業交流促進 ・域外からの投資を積極的に呼び込み、企業の稼ぐ力を一層向上させるために、新たな半導体関連企業の立地を促進するとともに、地場の半導体関連企業の投資を活性化させることを目指す。	
地域の多様な 主体の参画	・鹿児島県地方創生有識者懇話会において、事業全体の効果検証結果を踏まえ改善点を明確化し、鹿児島県まち・ひと・しごと創生総合戦略の改訂や今後の事業展開に反映させる。 ・取引拡大、交流拡大を支援するなかで、民間企業等からの意見を参考に、2年目以降の事業に反映させる。					KPI	※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値 ①県内半導体関連企業の1人当たり付加価値増加額の増加率（+9%） ②人材確保・育成支援セミナー等のイベントの開催数（+3回） ③半導体関連の展示会出展数（+24社） ④台湾半導体産業界と関係構築が図られた企業数（+5社）

事業概要【企業の経営体制強化プロジェクト】

申請者	鹿児島県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	76,194千円 (25,398千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	起業に向けた機運の醸成を図るとともに、中小企業の経営基盤の強化に向け、価格転嫁の円滑化に向けた支援を行うとともに、賃上げや事業承継を推進するなど、本県産業が長期的に持続して発展するため、企業の「稼ぐ力」の向上を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本県産業が長期的に持続して発展していくため、スタートアップへの支援とともに、価格転嫁の円滑化や事業承継の加速化、賃上げのための業務改善の取組について支援を行う。 【ソフト事業経費】 ○企業の経営体制強化に関する事業（委託料等 25,398千円） ・価格転嫁の円滑化促進事業 ・中小企業事業承継加速化事業 ※経費内訳はR7年度事業費					○企業の経営体制強化に関する事業 本県産業が長期的に持続して発展していくため、スタートアップへの支援とともに、価格転嫁の円滑化や事業承継の加速化、賃上げのための業務改善の取組について支援を行う。 起業に向けた機運の醸成を図るとともに、中小企業の経営基盤の強化に向け、価格転嫁の円滑化に向けた支援を行うとともに、賃上げや事業承継を推進するなど、本県産業が長期的に持続して発展するため、企業の「稼ぐ力」の向上を目指す。	
地域の多様な 主体の参画	・鹿児島県地方創生有識者懇話会において、事業全体の効果検証結果を踏まえ改善点を明確化し、鹿児島県まち・ひと・しごと創生総合戦略の改訂や今後の事業展開に反映させる。 ・中小企業やスタートアップ等を支援する中で、経営環境等に関する民間企業等からの意見を参考に、2年目以降の事業に反映させる。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①企業の異業種交流・スタートアップ促進（かごゆいテラスを活用したマッチング件数）（+150件） ②市町村の相談窓口等を通じた県外からの移住者数（+10,068人） ③県事業承継・引継ぎ支援センターにおける第三者承継成約件数（+75件）

事業概要【スマート農業を活用した“稼ぐ力”向上プロジェクト】

旧制度（推進）

申請者	鹿児島県鹿児島市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	76,813千円（12,542千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的・効果	・次世代の担い手の確保・育成を図る ・ICT等を活用したスマート農林水産業による生産性の向上 ・6次産業化や他産業との連携による本市農産物の魅力向上・発信 ・持続的に成長可能な稼げる農業の実現		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 次世代の担い手の確保・育成や、生産環境のICT化や生産技術の高度化を図り、6次産業化や他産業との連携により本市農産物の魅力を向上・発信するなど、持続的に成長可能な稼げる農業の実現に向けた取組を行う。 【ソフト事業経費】 ○海外研修支援による生産技術や経営能力に優れた担い手の育成 ・旅費、現地研修費用等（補助金）1,800千円 ○大学との連携による栽培環境データの収集・分析・栽培マニュアル作成 ・研究委託費（委託料）1,220千円 ○6次産業化推進施設の運営経費 ・加工機器の保守点検（委託料）567千円 ・商品開発支援のためのレシピ開発（需用費）238千円 ○自動制御・遠隔操作の実演用施設の整備 ・炭酸ガス発生装置整備（委託料）3,370千円 ※経費内訳はR7年度事業費		
KPI	①スマート農林水産業関連技術の導入件数（+51件） ②6次産業化と農商工連携等によって作られた新商品数（+30品目） ③認定農業者1経営体あたりの売上高（+2,496千円） ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	関連URL	6次産業化商品開発室（通称：6次化ラボ）の使用(市HP) https://www.city.kagoshima.lg.jp/tosinou/sangyo/norin/shisetsu/center/rokujikariyo.html

事業概要【合併5地域の魅力づくり・活力向上推進プロジェクト】

旧制度（推進）

申請者	鹿児島県鹿児島市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	55,677千円（17,596千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	交流・関係人口の増加や地域の特性を生かしたブランディングを進め、地域内産業の競争力強化による地域活力の底上げを図るとともに、新たな魅力の創出や住みやすいまちづくりの推進による住民の地域への愛着を醸成する。それにより、人口減少の影響の軽減と、地域の魅力を生かした持続可能な地域の形成を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	○【吉田】二輪遊具や田畑などの資源を活用したイベントを行う 地域団体の支援(負担金)2,905千円 ○【桜島】様々な産業の連携による地域内ポテンシャルの最大化 (委託料)1,155千円 ○【喜入】整備した観光拠点と地域の暮らしや文化をつなぐレンタサイクルの導入(委託料、負担金) 1,284千円 ○【松元】地場産業の持続的な運営に向けたお茶のブランディング (負担金)4,557千円 ○【郡山】Eバイクを活用した体験型コンテンツの創出等 (委託料・負担金) 2,261千円 ○【全地域】新たな客層に向けて広域性の高いツールを活用した効果的な情報発信 (委託料・役務費等)617千円 吉田  桜島  喜入  松元  郡山  		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①本プロジェクトで整備した拠点施設利用者数及びコンテンツ利用者数 (+1,300人) ②地域内外の人がInstagramで「#ここかご」を付けて投稿した投稿数 (+2,900件) ③地域住民または地域事業者が主体となった取組への参画数 (+1,080人) 関連URL 【鹿児島市HP】 https://www.city.kagoshima.lg.jp/machizukuri/kocho/tiikidukuri/kyousou.html 【公式Instagram #ここかご】 https://www.instagram.com/cocokago_official/?hl=ja		

事業概要【かごしま元気企業転換プロジェクト】

申請者	鹿児島県鹿児島市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	53,412千円（19,446千円）
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	- 地域産業の競争力強化や新事業・新産業の創出支援、人材の確保・育成により、地域産業の稼ぐ力の強化を図る。 - 若者の地元定着の推進に向け、職場環境の整備等に取り組むとともに、新産業創出・新規事業展開の促進や市外への販路拡大などを通じて、安定した雇用や地域の活力を生み出すまちの創造を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ○新産業創出・新規事業展開の促進や市外への販路拡大、女性の人材流出防止など、安定した雇用や地域の活力を生み出すまちの創造を目指す。 【ソフト事業経費】 ○オープンイノベーション創出支援事業 ・自社の「課題・強み」言語化ワークショップの開催、ビジネスコラボレーション創出交流イベントの開催等（委託料）5,983千円 ○かごしまシティコレクション販路拡大事業 ・本市公式ECサイトの構築・運営等（委託料）10,131千円 ○かごしまのアンコンシャス・バイアス見える化事業 ・アンコンシャス・バイアスについてのアンケート調査、調査結果周知広報（委託料）3,332千円					オープンイノベーション創出支援事業  かごしまシティコレクション販路拡大事業  かごしまのアンコンシャス・バイアス見える化事業 	
地域の多様な 主体の参画	「鹿児島市まち・ひと・しごと創生総合戦略検証会議」において、産・官・学・金・労・言のそれぞれの主体に対し、交付金事業に関する意見・助言を求め、事業内容への反映に取り組む。					KPI	※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値 ①公式ECサイトによる地域における経済波及効果（+65,684千円） ②事業共創提案事業者数（+36事業者） ③ECサイトの販売額（+45,000千円） ④啓発特設サイトのアクセス数（+6,150件）

事業概要【産業と一体となった魅力あるウォーターフロントのまちづくり形成プロジェクト】

旧制度（推進）

申請者	鹿児島県枕崎市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	63,027千円（19,811千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的・効果	県内唯一の「特定第三種漁港」である枕崎漁港を核とし、枕崎お魚センターを中心とした交流人口・関係人口創出力の底上げや本市産業の発展につながる「稼ぐ産業観光エリア」を確立させることで、カツオやかつお節などを中心とした、独自の食文化を強みとする「観光振興」と本市基幹産業である水産業、水産加工業の生産安定や販売力・ブランド力向上等の「海業振興」を両翼として“官民連携”で強化し、「人と物が交流し、活力みなぎる都市型ウォーターフロント形成によるまちづくり」のさらなる推進により、枕崎ブランドアイデンティティの「リブランディング」を図る。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 観光振興と海業振興を両翼として、戦略的プロモーションを展開しながら、魅力的な観光地づくり、枕崎ブランドの確立と価値向上を図る。 【主な経費】 ①【観光振興と海業振興の両翼推進事業】4,546千円(補助金) ・地域資源等の調査及び分析・活用 ・地域のマーケティング力の向上 ・誘客推進等による観光地経営の深化 など ②【枕崎の食文化発信と稼ぐ力の推進事業】8,157千円(補助金) ・戦略的なプロモーション ・地域における魚食普及と関連商品の付加価値向上 など ③【『枕崎』リブランディング事業】1,842千円(補助金) ・枕崎鰹節の価値向上と推進体制の強化 ・枕崎ブランドアイデンティティの醸成 ④【魅力度向上・機能強化・体験型観光促進事業】5,266千円(補助金) 展望デッキ、カツオわら焼きたたき体験設備等整備		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における観光消費額（+31,824千円） ②観光地点の観光入込客数（+17,984人） ③ホームページPV数（+23,652PV） ④イベント実施日の枕崎お魚センター来館者数（+12,000人）		関連URL (交付金の具体的使途・実施体制・効果検証) https://www.city.makurazaki.lg.jp/soshiki/kikaku/211.html

事業概要【多様な人材の活躍を産業の発展につなげるICT拠点整備事業】

申請者	鹿児島県枕崎市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	178,400千円 (89,200千円)
経費の種類	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	旧金山小学校の未活用部分をICT拠点として整備し、IT分野の公共職業訓練（離職者訓練）や訓練生の市内企業への就職支援、企業等の人材確保支援、DX導入支援、起業家スタートアップ支援等を行うことで、年齢性別問わず「多様な人材が活躍する持続可能なまちづくり」を目指すとともに産業競争力の強化やしごとを起点とした移住定住につながる関係人口の創出を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 デジタル人材の育成、求職者の就業及び本市への定住促進、市内企業の雇用機会の確保と人手不足の解消等、多くの方が活躍し、産業が成長していく「多様な人材が活躍する持続可能なまちづくり」の形成を図るための拠点整備を行う。 【拠点整備事業経費】 ○旧金山小学校の未活用部分をICT多目的室、トイレ、飲食スペースに整備し、体育館を施設利用者のための駐車場スペースに整備する。 ・施設整備 178,400千円						
地域の多様な 主体の参画	施設の活用事業者と市が連携し、企業のIT技術の導入や人材の育成、市内企業の雇用機会の確保と人手不足の解消、求職者の就業及び本市への定住を促進する。また、事業の効果検証や取組の検討等、公共職業安定所や高校などの各団体等と地域内の連携を図り、相乗効果を図る。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①市内企業への就職者数 (+30人) ②公共職業訓練（離職者訓練）の受講者数 (+76人) ③就職に向けた企業説明会の開催 (+25回) ④本市への移住問合せ件数 (+30件) ⑤DXセミナーの開催 (+10回) ⑥地域交流イベント参加者数 (+200人)

事業概要【副業・兼業活用及び生産性向上による地域の産業活性化プロジェクト】

旧制度（推進）

申請者	鹿児島県阿久根市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	30,000千円（16,000千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	・ 空き時間、休日を活用した「短時間労働」や「副業」を促すことで、労働力の掘り起こしを行い、市内企業へ供給することで労働力不足の軽減を図る。 ・ 市内企業の「生産性向上」、「DX推進による省力化」等の啓発や人材育成を支援することで、企業経営力の強化を図る。 ・ 金融機関等と連携し、持続して副業・兼業の促進や生産性向上等支援を行うための事業運営体制を構築する。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 産業の振興による「にぎわいのあるまち」の創出に向けて、企業の労働力不足の軽減や生産性の向上を図るための具体的な支援を行いつつ、事業運営体制を確立し、本格稼働に向けた事業計画を策定することで、地域に雇用と所得を持続的に生み出すための「域内循環の促進」を図る。 【主な経費】 ○副業・兼業マッチングシステム構築、実証運用 ・ マッチングシステムの構築（委託料）6,000千円 ・ マッチングシステム実証事業の実施（委託料）3,000千円 ○事業運営体制の構築 ・ 事業運営体制の構築（委託料）1,000千円 ・ 事業運営体制の実証（委託料）2,500千円 ○地元企業の基盤強化 - 実践支援（委託料）3,250千円 ○副業・兼業に必要な規定例の作成 - 必要な規程の把握、作成（委託料）250千円		
KPI	①地域における新規雇用者数（+61人） ②本プロジェクトによる新規雇用者（副業・兼業）（+415人） ③付加価値労働生産性が上昇した事業所数（+20事業所）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.city.akune.lg.jp/shiseijoho/shisaku_k/eikaku/5018.html （効果検証） https://www.city.akune.lg.jp/soshikikarasagasu/kikakuishinka/kikakuseisakugakari/6/1/600.html

事業概要【（仮称）道の駅「出水」広域連携・防災道の駅整備事業】

申請者	鹿児島県出水市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	1,427,224千円 (214,410千円)
経費の種類	ソフト 事業		拠点整 備事業	✓	インフラ 整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	- 道の駅を新設し、周辺自治体と連携して広域的な観光情報を発信し、道の駅を起点とした観光周遊ルートの創出により、インバウンド観光客を含めた観光客の数や滞在時間の増加を図る。 - 地域の豊富な農林水産物の販売や、特産品・飲食メニューの開発により、販路を拡大し、生産者の所得を向上させ、働きがいを実感してもらい、農林水産業従事者の減少を抑制する。 - 大規模災害や家畜伝染病が発生した場合の、地域全体の広域的な「防災・防疫拠点」としての活用が期待できる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 「薩摩の国の玄関口（鹿児島県のゲートウェイ）」に設置されるサービスエリア的な利用に加え、地域住民も利用できる道の駅として、県内外からの西回り道の利用者に、おもてなしと癒しを提供する快適な空間と周辺景観と調和した魅力的な施設とするとともに、地域住民のコミュニティ拠点となる施設整備を行う。 また、運営事業者、市及び（一社）出水市観光特産品協会等が連携・協力し、本市及び周辺自治体で生産された地場産品を活かした加工品や特産品の開発及び地域の食材を活かした飲食施設におけるメニュー開発を行う。 【拠点整備事業経費】 - 道の駅の基本設計 19,910千円 - 用地造成 194,500千円						
地域の多様な 主体の参画	事業者審査委員会の委員として高等専門学校及び金融機関に参画してもらうことにより、専門的意見を施設整備、運営に生かす。 道の駅の指定管理者に商品開発やイベント等の開催を行ってもらい、利用者の増加や地域住民の交流につなげる。 自治会と連携し、利用者目線での意見を吸い上げ、事業内容への反映に取り組む。					KPI	①観光交流人口の増加（+45万人） ②道の駅の年間利用者数（+70万人） ③道の駅の物販・飲食施設における年間売上額（+7.5億円） ④道の駅の特産品・飲食メニュー開発数（+8個）

※経費内訳はR7年度事業費

※カッコ内の数値は最
終事業年度までの
「KPI増加分の累計」
の目標値

事業概要【地域ブランド「いずちよく」の構築による地域経済活性化好循環プロジェクト】

申請者	鹿児島県出水市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	45,000千円（15,000千円）
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	農林水産分野
目的・効果	市内直売所の集まりを「いずちよく」として、市内需要喚起に向けた取組を実施してきた中、安心・安全・高品質な出水産の商品を地域ブランド「いずちよく」として確立させ、市内での消費拡大、市外への販路開拓により、市内直売所、生産者、食品加工事業者等の稼ぐ力を向上させる。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 ○新たな直売所利用者の獲得のため、市場調査や商品開発等を実施 ○国内外のホテル、レストラン等の販路を新たに開拓し、外貨を獲得 ○商品の安定供給のために直売所への出荷者を増やす取組を実施 【ソフト事業経費】 ○「いずちよく」ブランディング事業 (委託料) 8,000千円 ・地域資源を活用した特色のある商品開発 ・「いずちよく」ブランディング ○販路開拓に関する事業 (委託料) 2,000千円 ・市外のホテル、レストラン等に対する販路開拓 ○商品確保に関する事業 (委託料) 5,000千円 ・市内直売所への出荷に関する意向調査、就農促進の環境整備に関する調査等					<pre>graph TD; A([「いずちよく」ブランドの浸透]) --> B([新たな利用客・販路の獲得]); B --> C([直売所の増加売上]); C --> D([直売所へ出荷を希望する生産者の増加]); D --> E([安定して高品質な商品の供給]); E --> A;</pre>	
地域の多様な 主体の参画	市は各関係機関との調整役を担うとともに、イベント開催、広報活動、生産品向上に向けた研修等における後方支援を行うことで、効果的な事業実施を図る。 直売所だけでなく、生産者、食品加工事業者等、市内の農林水産物の生産、加工等に関わる様々な関係者を巻き込みつつ、本市の課題解決に寄与する事業展開を図る。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①出水市の農業産出額（+73.5億円） ②特産館いずみの売上高（+2,700万円） ③特産館いずみの来客数（+32,000人） ④市外への販路開拓数（+5件） ⑤直売所における新規の出荷者数(+5人)

事業概要【市内事業所のDX推進による経済活動活性化プロジェクト】

申請者	鹿児島県出水市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	27,026千円（8,683千円）
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	市内事業者のDX化及びデジタル人材の育成を支援することで、市内産業の生産効率向上を図り、人手不足の解消を目指す。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 市内企業のDX化を推進し、生産性向上を支援するため、セミナー・ワークショップの開催及び希望する市内事業所のDX化に関する伴走支援を実施する。また、子育て・介護世代に対する新たな働き方を提案するため、市内事業所が抱える一部業務のアウトソーシングを行う環境整備事業を実施する。 【経費内訳】 事業①市内事業所等のDX推進とデジタル人材の育成 5,318千円 事業②誰もが活躍できる働く場・働き方の環境整備 2,016千円 事業③未来の本市産業を支えるデジタル人材の育成と、企業・人材の進出・還流を促す情報発信 1,349千円					出水市の課題 本プロジェクトの主な取組 目指す効果 人手不足による 経済活動の低迷 DX推進、 デジタル人材の育成 多様な働く場・働き方の 環境整備 ・市内事業所のDXによる 業務効率化、生産性向上 ・地域の労働力の確保 ・働く人の満足度向上 (楽しい職場) ・デジタル・新技術の企業や スタートアップの進出 ⇒本市経済活動の活性化	
地域の多様な 主体の参画	デジタル化を進めたい市内事業所を対象としたセミナー及びワークショップを実施し、継続して市内のDXを支える基盤づくりを行う。また、市内商工会議所等と連携を行い、市内事業者からの意見等を随時聴取し、事業への反映を図る。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①市内生産額（+4億円） ②DX推進に取り組む事業所等数（+30件） ③テレワーク研修受講者数（+15人） ④特設ページの閲覧数（+550ページビュー）

事業概要【指宿版DMOをプラットフォームとしたデジタルマーケティングによる観光振興

旧制度（推進）

「ALOHAなまち指宿」再生プロジェクト

申請者	鹿児島県指宿市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	190,879千円（54,500千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的・効果	・デジタルマーケティングを通して、観光客のニーズや価値観に沿ったコンテンツや受入環境の整備・磨き上げを図る ・地域資源の高付加価値化による観光客の満足度向上、リピーター獲得を図る（関係人口の拡大、指宿ファンの増加） ・継続的なデータ収集・分析とともに、農漁業等の他産業との地域内連携を強化し、収益性の向上や雇用の促進を図る ・プロモーションの基軸「レトロピカル指宿」に基づき、ターゲット層への的確なアプローチ、イメージ戦略の強化を図る		
事業概要・主な経費	〇いぶすき観光デザインをコーディネーターとした統一的な取り組み いぶすき観光デザインにおける人材配置、専門的な研究を行っている大学や専門家による指導を継続し、マーケティング能力を高め、今後も持続可能なマネジメント体制を構築する。 ・専門家等による指導（5,000千円） ・機能強化のための人材の配置（5,500千円） 〇"食"と"体験"をフックとしたコンテンツの磨き上げと販売（誘客）促進 食や体験等、多様な地域資源の高付加価値化、周遊環境の整備とともに、ターゲットや顧客ニーズを捉えた戦略的かつ持続可能な基盤の構築を図る。 ・地元食材を活用した食の磨き上げ（3,322千円） ・Googleビジネスプロフィール拡充による周遊環境整備（468千円） ・周遊促進に向けたコンテンツガイドマップの電子化と対応言語拡充（1,875千円） ・アウトドアコンテンツの高付加価値化及び電子化（2,915千円） ・情報収集・活用等デジタルマーケティング推進体制の整備（3,420千円） ・専門人材の活用による持続可能な体験受入体制基盤の強化（7,000千円） ・指宿市観光・経済戦略会議運営負担金（345千円） 〇国内外への情報発信の強化 CRMシステムを活用したトレンド分析に基づく、効果的・効率的な情報発信や新たなターゲット層やインバウンド需要に向けた新しい連携による事業展開を図る。 ・いぶすき観光デザインを核とした観光DXを実現するための基盤整備事業（5,000千円） ・デジタルイラストマップの機能拡充によるインバウンド周遊環境整備（6,832千円） ・地元高校生やインフルエンサーとタイアップした産学官民連携によるプロモーション（3,410千円） ・インバウンド需要に向けたランディングページの機能拡充、プロモーション（7,213千円） ・砂むし温泉の新たな機能性効果の情報発信による地域資源の高付加価値化（1,100千円） ・指宿港海岸を活用した新たな観光拠点創出に向けたプロモーション（1,100千円）		
KPI	①食と体験コンテンツの開発数（+19件） ②食と体験コンテンツの販売事業者数（+32件） ③新規作成動画年間視聴回数（+700万回） ④観光消費額（+120億円）	関連URL	「調整中」 「レトロピカル指宿」ランディングページ https://retropical-ibusuki.com/ CRM「いぶすきさんぽ」ホームページ https://www.ibusuki.or.jp/info/sanpo/

※経費内訳はR7年度事業費



事業概要【「サーキュラー都市・薩摩川内市」実現プロジェクト】

申請者	鹿児島県薩摩川内市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	102,780千円 (39,260千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	循環経済（サーキュラーエコノミー）を柱として持続的に発展させるための取組を進めることで、少子・高齢化対策、人口減少に伴う縮小経済への対応、SDGs・カーボンニュートラルの実現につなげるもの。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 サーキュラーエコノミーの推進・実装にあたって必要となる専門的・実践的な知識を持つ人材及び消費者としての意識啓発や行動変容を促す普及促進人材の育成に向けて、サーキュラー研修事業を実施する。また、本市のサーキュラー都市の取組の「ブランド価値」を高め、シビックプライドの醸成等を図るサーキュラー都市ブランディングプロジェクトを実施する。 【ソフト事業経費】 市内の児童・生徒を対象とする本市独自の「サーキュラーエコノミー研修プログラム」を構築する。また、ブランド価値を高めるため、資源循環のためのネットワーク構築活動、体験型・体感型の市民向けイベント、廃棄物（循環素材）を活用した開発コンペを実施する。 ・研修プログラム構築経費（委託料・備品経費）4,260千円 ・ブランディング実施経費（委託料）35,000千円					【取組イメージ】	
地域の多様な 主体の参画	資源循環事業の主体であるサーキュラーパーク九州(株)のほか、商工会議所等、地域内での連携を促進する。 また、関連大学等と連携するほか、任意組織である「薩摩川内市SDGsチャレンジ協議会」等との連携により、関係者間との情報共有や理解促進による取組の波及効果につなげる。					KPI	※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値 ①住民基本台帳人口における社会増減数（5年平均）（+57人） ②市内学校新卒者の市内企業就職率（+4.10%pt） ③市内の立地企業における新規雇用者数（+30人） ④サーキュラーエコノミー関連分野の実証事業の実施件数（+18件） ⑤サーキュラーエコノミー関連事業の操業件数（+6件）

事業概要【クラフトマンヴィレッジ美山ツーリズム戦略推進プロジェクト】

申請者	鹿児島県日置市					初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	37,686千円 (12,946千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	・地域マーケティング力の向上と地域の魅力向上による年間を通じた賑わい創出を図る ・後継者確保策の確立による伝統工芸の継承を図る ・観光客・事業者・住民の満足度を高める観光まちづくり整備を図る ・文化的交流から産業的交流への転換による経済の活性化を図る						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 観光客の行動動態等のデータを継続して取得し、事業者へのデータ利活用支援や販売力強化に向けたセミナー等を実施するとともに、伝統工芸の後継者確保に向けて、産地PRや窯業系学生と窯元との対話の機会を創出する。また、既存観光施設の方向性を確定し、新たな観光拠点整備に向けた事業計画を策定するほか、国際交流においては、特産品等の交流販売を試行する。 【ソフト事業経費】 ・データ利活用支援（委託費） 1,929千円 ・誘客促進支援及び販売力強化支援（委託費） 6,582千円 ・後継者育成確保策の試行に向けたヒアリング調査（委託費） 2,381千円 ・観光まちづくり整備計画策定及び中間支援組織の設立支援（委託費） 1,127千円 ・AIR事例検証及び受入環境の調整、特産品等の交流販売の試行（委託費） 927千円						
地域の多様な 主体の参画	地区内事業者による情報発信の強化や薩摩焼の継承を支援し、定期的な会合等により情報共有や意見を徴し、事業内容に反映する。 市内観光関連事業者に、本事業における取組みを紹介し、事業者間の連携強化を図り、他地域・他産業とともに観光誘客及び周遊促進に取り組む。 大学と共同でマーケティング分析を行い、観光コンテンツの磨き上げや事業の効果検証を行う。 銀行と連携し、中間支援組織の設立及び運営体制づくりへの支援を行う。 自治会と連携し、住民目線及び利用者目線での意見を吸い上げ、事業内容への反映に取り組む。					KPI	※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値 ①地域の人口・世帯数（+6人） ②美山地区の観光入込客数（+16,050人） ③美山地区内の店舗におけるGoogleビジネスプロフィールのオーナー登録数（+20件） ④後継者育成プログラム修了者数（+4人）

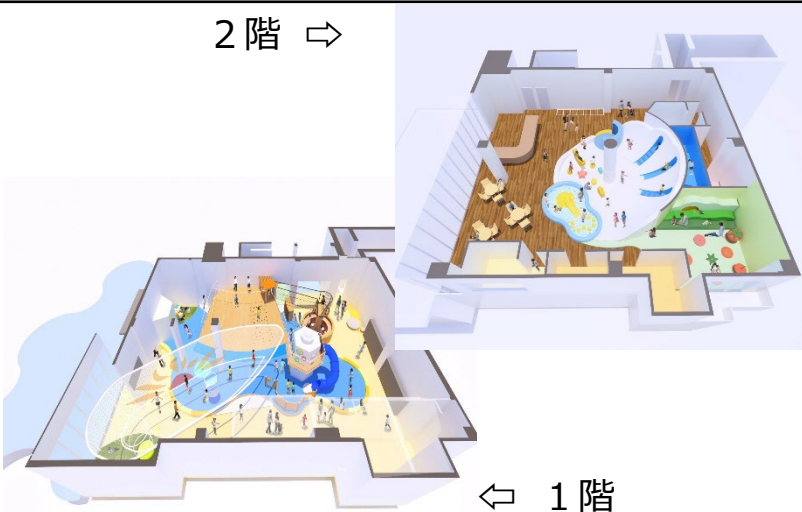
事業概要【いちき串木野ローカルイノベーター育成事業】

申請者	鹿児島県いちき串木野市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	30,000千円（10,000千円）
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	・偏った就業構造を背景とする職業選択の少なさを解消するため、創業や新たなプロジェクトへの取り組みなどローカルイノベーターとして新たなキャリアパスを描くことができることを示し、若者の転出抑制と新たな人の流れの創出を図る。 ・人口減少や少子高齢化を起因とする課題や将来の持続可能な発展を見据えた取り組みを促進し、持続可能で魅力ある地域社会の創出を図るため、複雑多様化する課題解決に取り組む人材（ローカルイノベーター）を育成する。 ・若者のUIターン促進には人間関係の構築も重要であることから、中間支援組織の機能も併せ持つ若者のコミュニティを形成する。						
事業概要・主な経費	【ソフト事業経費】 ①ローカルイノベーター育成塾開催経費（委託料）6,730千円（プログラム、フィールドワーク等開催、講師謝金、記録等） ローカルイノベーターとして、塾生の段階的な成長の促進を図るための座学やフィールドワーク等の実施。 ②フォローアップ経費（委託料）500千円（人件費等） 育成塾生を核に多様な主体が参画するコミュニティの形成を図り、塾生がリアルとデジタルツールによる相互支援や多様な主体によるアドバイス等が受けられる体制構築。 ③事業企画・運営費（委託料）1,100千円（人件費等） ④事前説明会開催費（委託料）165千円（人件費等） ⑥事業PR（委託料）1,505千円（HP制作費、SNS等広告費）					実施内容 ◆地域課題を解決できる能力の取得 ・地域課題解決能力を習得できる座学やフィールドワーク等のプログラム ・専用WEBサイトの設置 ◆フォローアップ体制の構築 ・卒業生、ベンチャー創業者によるメンター制度 ・日常的に相談できる場の常設（既存施設を活用） ◆多様な主体によるコミュニティ形成 ・塾生、塾の卒業生、講師、実施主体、移住希望者、関係人口など多様な主体の参画 ・リアルとデジタル(LINE,SLACK)の交流による仲間、絆の形成促進 ・相互支援による創業やプロジェクトの誘発促進 効果 ●活躍する人材の育成 ・持続可能な社会の形成に取り組む人材の育成 ・参加者の成長促進 ・シビックプライドの醸成 ●まちの魅力づくり ・創業や新たなサービスによる働く場や雇用の創出 ・活躍する若者の増加 ●移住定住促進 ・職業の選択肢が増えることによる転出抑制 ・まちの魅力増進による関係人口や移住者の創出 ・コミュニティは中間支援組織としての機能 若者が、ローカルイノベーターとして、地方における新たなキャリアパスを描けるよう支援体制を構築することで、転出抑制と新たな人の流れの創出の実現を図る。	
地域の多様な主体の参画	まちづくり業者と共同で育成塾やコミュニティの運営を行い、育成塾参加者である若者が、学びや多様な主体との交流を通して、多様な働き方や自己実現のための新たなプロジェクトにチャレンジできる環境を整備する。 また、実施に当たっては、地域リーダーや商工会議所・商工会、金融機関が参画することで、育成塾生の学びや創業を支援する。					KPI	※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値 ①育成塾を通して生まれた移住者数(+3人) ②育成塾を通して生まれた関係人口数(+70人) ③育成塾を通して創業した人数(+9人) ④育成塾から生まれたプロジェクト数(+15件) ⑤育成塾の応募者増加数(+40人)

事業概要【長崎鼻公園を活かした誘客交流拠点施設整備事業】

申請者	鹿児島県いちき串木野市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	699,589千円 (496,731千円)
経費の種類	ソフト 事業		拠点整備 事業	✓	インフラ 整備事業	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	- 若者・女性がより暮らしやすいまちと思えるよう、長崎鼻公園のリニューアルを行い、市民の暮らしの満足度向上を図り、定住意向の向上・転出意向の抑制を目指す。 - 地域外からの利用者を増やし、関係人口の創出と地域外住民の転入意向向上を目指す。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	長崎鼻公園が子どもから高齢者まで幅広い世代が集い、憩いの場となるよう、「長崎鼻公園誘客交流拠点施設（仮称）」を核に、エリア一帯をリニューアルする。 また、産官学労言の多様な属性を持つ地域住民が主体として参画する「エリアマネジメント協議会」を組成し、長崎鼻公園誘客交流拠点施設（仮称）を軸とした賑わい創出に、地域住民が主体的に参画できる仕組みを構築する。 ・拠点施設整備費 340,541千円 ・外構工事費等 151,713千円 ・エリアマネジメント事業費 4,477千円					【外観イメージ】  【内観イメージ】 	
地域の多様な 主体の参画	施設の管理運営は指定管理者が行いつつ、持続的かつ効果的な運営とするため、整備予定のカフェ施設及び屋内遊戯施設の入居事業者や、「産官学労言」の多様な属性を持つ住民（地元高校生を含む。）からなるエリアマネジメント協議会が連携し、定期的にイベント等を開催する。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①市外からの転入者数（+82人） ②市内からの転出者数（▲48人） ③市内在住者の長崎鼻公園利用者数（+56,035人） ④市外からの長崎鼻公園利用者数（+24,015人） ⑤市外からの長崎鼻公園利用者のリピート者数（+7,204人）

事業概要【多世代交流拠点施設整備事業】

申請者	鹿児島県志布志市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	781,560千円 (682,378千円)
経費の種類	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	商店街内の空きビルに、季節や天候に左右されず利用できる子ども向け屋内遊び場、コワーキングスペース等の機能をもった本市に今までなかった「多世代交流拠点施設」を整備し、多世代・企業等の交流を生むことで、まちの魅力を高め、交流人口を増やし本市への人の流れを作る。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 多世代交流ができる施設として、屋内外の子どもの遊び場、相談室、会議室、コワーキングスペース、カフェスペース等を整備し、子育て世代を中心に多様な世代が交わり、新たな交流が生まれる地方創生の拠点施設を整備する。 【拠点整備事業経費】 商店街内の空きビルに多世代交流拠点施設及び駐車場を整備 ・施設整備 677,481千円 ・子育て支援エリア（1階、2階） ・交流の拠点エリア（3階、4階） ・駐車場整備 4,897千円						
地域の多様な 主体の参画	住民と行政が一体となった住民参画のまちづくりの推進を図り、市の振興と市内各地域の近郊の発展に資することを目的とする「まちづくり委員会」に事業構想段階からまちづくりの観点から参画していただいている。交付金事業の初年度が終了した時点で、まちづくり委員会を開催し、まちづくりや市の振興の観点から事業の進捗状況・効果測定をしていただき、各意見をPDCAサイクルに反映する。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①移住者数（+77人） ②交流人口数（敷地全体利用者数）（+19,000人） ③施設入館者数（+16,250人） ④子どもの遊び場への入館者数（+9,500人） ⑤イベント開催数（+14回）

事業概要【宇宿貝塚史跡公園観光拠点再整備事業】

申請者	鹿児島県奄美市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	150,000千円 (150,000千円)
経費の種類	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	- 世界自然遺産の自然・文化資源と縄文時代から引き継がれた遺産である「宇宿貝塚史跡公園」を民間・市民・行政が連携し活用することで生物多様性を守りつつ持続可能な地域経済を創出する。 - オーバーツーリズムを抑制しながら観光消費額と外貨を拡大し、島内経済循環を強化し、地域の「稼ぐ力」と環境保全の両立を実現する。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 宇宿貝塚史跡公園を観光拠点施設として来場者を迎え入れるにあたり空調効果を高めるための断熱機能、施設内観光コンテンツ（遺構）を保護するための自然光遮断機能、自然エネルギー導入を目指した屋根の再整備、パッシブデザインやゼロカーボン建築を目指した屋根・外壁改修を実施する。 【拠点整備事業経費】 ○宇宿貝塚史跡公園再整備 - 施設整備：120,000 千円 1. 屋根・外壁の全面改修 2. 施設入口外部スロープ及び施設内部の遺構周辺の手すり設置 3. 駐車場及び施設入口のサイン設置 4. 発掘体験ゾーンの設置及び内装リニューアルによる機能向上 ・デジタルコンテンツ導入事業：30,000 千円 1. VR コンテンツの制作・屋内プロジェクション制作機器整備一式						
地域の多様な 主体の参画	地域資源を活用した観光・商品開発やイベントを核に、企業・商工会等は商品開発・販路拡大と情報発信・行政はプロジェクト調整・制度化。大学は調査研究・助言。金融・メディアは資金・人材・広報を支援。住民は体験提供と評価に参画してもらう。多方面一丸となってプラットフォームに連携し、推進を図る。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①1人当たり観光消費額（+7,474円） ②希少動物のロードキル数（▲92件） ③宇宿貝塚史跡公園施設来場者数（+8,053人） ④宇宿貝塚史跡公園を拠点とする新規事業の実施件数（+28件）

事業概要【知覧武家屋敷寺師邸を核とした稼ぐ観光拠点整備事業】

申請者	鹿児島県南九州市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	218,815千円 (38,592千円)
経費の種類	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	国内外から観光客が訪れている「知覧武家屋敷地区」に宿泊施設、飲食・買物・体験等ができる新規店舗を整備することにより、観光消費額の拡大、観光客入込数の増加、雇用の創出など地域経済の活性化を図る。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 知覧武家屋敷地区に、一棟貸宿泊施設、飲食等新規店舗、外構等を整備し、DMOが運営する。また、周辺観光地への効果拡大を図るため、宿泊施設や飲食等新規店舗で放映する周辺観光地を紹介する動画、配布用のリーフレット制作を行う。 【拠点整備事業経費】 既存建物を一棟貸宿泊施設に改修 ・施設整備 27,290千円 - 飲食等新規店舗の設計 ・設計費 4,702千円 - 外構等の設計 ・設計費 6,600千円						
地域の多様な 主体の参画	多様な関係者で構成しているDMO設立準備会で実質的な検討を行い、DMOとして当該施設の運営を行う。 地域おこし協力隊に地域住民や関係人口と連携したイベント等を開催してもらい、知覧武家屋敷庭園周辺への誘客を図るとともに、知覧武家屋敷庭園有限責任事業組合と連携し、地域住民や訪問者の意見を吸い上げ、事業内容への反映に取り組む。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①観光客の観光消費額単価 (+2,500円) ②一棟貸宿泊施設の売上額 (+420万円) ③飲食等新規店舗の売上額 (+1998万円) ④知覧武家屋敷庭園入込数 (+2,180人) ⑤新規雇用者数 (+4人)

事業概要【eスポーツ等地域活性化交付金事業】

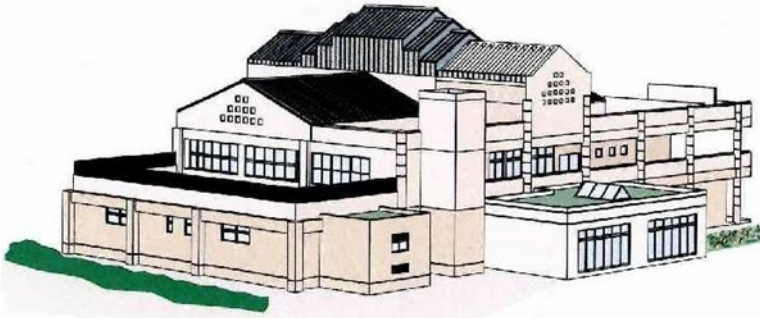
申請者	鹿児島県始良市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	39,000千円（12,000千円）
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	- 多世代参加型のeスポーツフェスの開催を通して多くの人がeスポーツの魅力に触れ、楽しむことで関係人口・交流人口の増加を図り、地域の活性化を推進する。 - 高齢者等の社会とのつながり・生きがいづくりを目的としたデジタル・コンテンツ講座を開催し、デジタル・ディバイド解消を図る。 - 高齢者等を支援する側に対してサポーター養成講座を開催する。 - デジタルに精通した専門家による講演会や若年層を対象にしたプログラミング体験会を開催し、若年層やその保護者等に対する認知度を高める。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 多世代参加型のeスポーツフェスの開催を通して、関係人口・交流人口の増加を図り、地域の活性化を推進する。 また、UDeースポーツというボタンだけを使用して簡単にeスポーツを楽しめる機材を活用し、福祉施設従事者を対象としたサポーター養成講座の開催やモデル事業所における効果検証、体験会の実施等を行う。そうしたことで、高齢者のフレイル予防や認知症予防の効果検証を行うと同時に、高齢者の社会とのつながり・生きがいづくりを推進する。 【ソフト事業経費】 ○あいらeスポーツフェス企画運営事業 （委託料）10,000千円 ○始良市デジタル・コンテンツ活用事業 （委託料）2,000千円						
地域の多様な 主体の参画	本市内にある工業高校及び連携協定を結んでいる大学、また、商工会や観光協会、特産品協会等の関連団体と連携し、地域一体となってeスポーツのイベントに取り組み関係人口・交流人口の増加を図る。 大学教授や金融関係者、デジタル関係事業者、マスメディア等の多くの職種の委員からなる協議会内において、専門的視点からの意見を収集し、本事業の効果検証を行う。					KPI	※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値 ①地域の転入者数（+10人） ②講座等を開催したサロン・事業所数（+3件） ③イベント等の参加者数（+4,500人）

事業概要【肝付町「未来商社」プロジェクト事業】

旧制度（推進）

申請者	鹿児島県肝付町	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	91,300千円（29,700千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的・効果	・地域特産品の町外への販路拡大や新たな人の流れを作り出し、「域外からの外貨」を獲得する。 ・地域特産品の製造・販売者や町内の観光関連事業者等のIT化を支援し、稼働力を向上させる。 ・専門人材等の登用による「宇宙資源」の活用を促進する。 ・担い手企業や支援者とともに上記事業の支援を行う、地元を中心とした組織体制（未来商社）の設立。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	「肝付町未来商社（仮称）」の本格稼働・自立化に向けた取り組み ● アクションプランの実施（委託料）20,900千円 ・地域特産品の製造、販売者の販路拡大 ・観光関連事業者の事業拡大 ・IT導入による事業改善 ● 未来商社の稼働・自立化 8,800千円 ・町外企業との連携事業の実施 ・副業人材の活用事業の実施 ・運営設備の設置（需用費・役務費・備品購入費）6,600千円 みんなが儲かる 産業「地域」の理想像 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	① 町外への販路拡大につながった地域特産品の製造・販売者数（+10事業者） ② 事業拡大につながった観光関連事業者数（+10事業者） ③ IT化等の事業改善につながった事業者数（+10事業者） ④ 1人当たり旅行消費額（+5.5千円）	関連URL	https://kimotsuki-town.jp/chosei/shisaku_keikaku/6150.html

事業概要【龍郷町多世代交流センター整備事業】

申請者	鹿児島県龍郷町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	836,335千円 (23,000千円)
経費の種類	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	- 新たな地域資源の「温泉源を」活用した施設整備でまちのにぎわいを創出し、人口減を抑制する。 - 子育て支援員等による相談・情報提供、併設するファミリーサポートセンターを通して子育て世代の妊娠・出産・育児支援の充実を図り、出生数増に繋げる。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【事業概要】 人の流れを生み出す新たな地域資源として温泉源を活用し、老朽化が進む既存施設を「多世代交流センター」として再整備する。 ▷1階（温泉施設、多目的室等） 温泉施設のほか、地域住民同士が集まって様々なイベントやワークショップを開催できる多目的スペースを設置する。 ▷2階（屋内遊戯スペース、ファミリーサポートセンター拠点等） 屋内遊戯スペース施設を整備することで、親子間の触れ合いの機会を創出するほか、子育て支援員を配置し子育てに関する相談・情報提供を行い妊娠期、子育て世代を支援する。 【拠点整備事業経費】 基本実施設計図書の作成 23,000千円						
地域の多様な 主体の参画	地元中高生や高齢者を含む地域住民、コミュニティFM等と中高生の保育体験や食育推進を目的とした共食イベント、伝統行事体験等の多世代交流イベントを開催することで、特に高齢者の外出や交流の機会を創出する。また、子育て世代や中高生についても多世代交流を通じて、高齢者に親しみ、つながりの希薄化を予防し、伝統行事等の継承など集落機能の回復への効果に繋げる。					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	① 地域の人口（-140人） ② 出生数（+1人） ③ 拠点施設利用者数（+52,200人） ④ 町外の温泉利用者数（+9,428人）

事業概要【"子宝の町"伊仙町からはじまる持続的で豊かな暮らし「地域公社」プロジェクト】

申請者	鹿児島県伊仙町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	95,000千円 (35,000千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	「地域公社」を中心に住民の日常生活に不可欠なサービス（買物、福祉、交通）の持続的な提供を目指す。 - 地域の様々な課題解決に向けた取り組みの中核的な役割を担う「地域公社」を設立する。 - 課題解決に向けて域内外の多様なプレイヤーを「地域公社」でつなぎ効果的な取り組みを進める。 「地域公社」を牽引役として「地域の稼ぐ力」の向上を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【ソフト事業経費】 ○「地域公社」可能性調査 26,000千円 ・現状調査・分析 ・「地域公社」で担う事業の可能性調査（日常生活に不可欠なサービスの整理 等） ・「地域公社」プレイヤーの可能性調査 ○「地域公社基本構想」、「アクションプラン」の策定 9,000千円 ・「地域公社」のビジョンやミッション ・設立や具体的事業の実施に向けたプロセスの策定 ○「地域公社」の設立・「アクションプラン」の実施 ・「地域公社」の設立および設立後のプレ事業の実施。 ○「地域公社」の自立と発展的事業の展開 ・設立翌年以降5年間の事業計画を策定する。 ※経費内訳はR7年度事業費						
地域の多様な 主体の参画	地域内の民間企業においては、地域の現状や環境を把握している強みを活かしたうえでの協力関係を構築する。 公共施設・公共交通従業員には、地域公社事業の実務担当としての業務を遂行してもらう。事業を支える人材の確保・教育を行うと主に、働きやすい環境の整備の推進も行う。					KPI	①人口（社会増減数の改善）（+80人） ②地域公社事業としての売上金額（+1.8億円） ③公共施設（健康増進施設、直売所）・公共交通の利用客数（+50,000人） ④販路拡大につながった地域特産品の製造・販売者数（+10事業者） ⑤デジタルを活用した地域特産品の情報発信・商品数（+30商品） ⑥地域課題の解決に向けたステークホルダーとの協働プロジェクト数（+10プロジェクト） ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値